

栄光ゼミナール賞
(高校部門)

福岡県立戸畑高等学校

2年

おおつか
大塚

ひより
日和

うまかった・うしやまけた

祖父母

手を合わせうまかったと祖父が言うと、うしやまけた！と少し間の抜けた祖母の声が返ってくる。今でもおいしいものを食べると、祖父母と暮らしていた数カ月間の日常で使われていた合言葉を思い出す。深い意味は無く、馬が勝ったから牛は負けたという簡単な言葉遊びである。キヤッチボールをしているような感覚が私は大好きなのだ。

流れる時間の中でお腹を満たすだけの食事をとっていると、寂しくなる瞬間がある。忙しい日々から一度離れ、おいしいものを食べつつ、一見必要の無さそうな言葉をのんびり使ってみよう。多くの人が知るわけでも心を揺さぶるような力がある訳でも無い気取らない言葉だが、私の心を切り替える鍵になる愛らしいおまじないだ。

受賞にあたって

長崎県に住んでいた小学生の頃、よく近所に住む祖父母と一緒にご飯を食べていました。祖父母の家は漬けもの屋さんを営んでいたので、ご飯にあうおいしいものがたくさんありました。食事の後、二人が口癖のようにこう言っていたことを、今でもよく覚えています。ちょうど東京から引越した後だったこともあって、方言混じりの祖母のおしゃべりが、とても豊かな響きに感じられました。